



Resilience View

レジリエンス・ビュー 第29号(新7)

本年もレジリエンス協会へのご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

昨年は地球温暖化の影響とみられる台風・大雨により各地に大きな災害をもたらされました。オーストラリアや、ブラジルでは今までにない大規模な森林火災に見舞われるなど、この傾向が年々強くなり様々な気候変動による世界的な災害の発生・拡大が懸念されています。

さらに、日本では首都直下型や東南海沖地震等の発生確率もいよいよ高くなってまいりました。自然災害、地震災害に対する自助・共助の備えが個人レベル、各種団体・会社レベル、地域レベルでますます重要になっています。年初にあたり、再度自助、共助面の見直し・チェックを行い、「備え」の強化を図りましょう。

また年が明けたら、昨年末中国で発生した新型コロナウイルスによる新型肺炎の、世界的規模での伝染拡大の兆しもあり、改めて日本の危機対応のまずさを問われる事態にもなりそうです。

イギリスのEU離脱や、ポピュリズムの台頭など、自然・環境以外の政治経済面での不安定な動きも見逃せなくなってきました。あらゆる面で気の抜けない時代状況になってきており、まさに個人、組織、地域、国レベルのレジリエンスの意識、備えがより重要になってきていると言えます。

<今号の内容>

1. 第39回定例会開催概要報告

【1月8日(水) 13:30~16:40 日比谷図書文化館 4F 小ホール】

2. 令和元年8月~11月の定例会、公開研究会等の活動概要報告

(1) 公開研究会「病院関係のレジリエンス」

8月2日(金) 13:30~16:30 日比谷図書文化館 4F 会議室 A

(2) 第37回定例会「台風対策」

9月20日(金) 13:15~16:45 日比谷図書文化館 4F 小ホール

(3) レジリエンスジャパン懇談会 「国土強靱化の取組み」

(レジリエンスジャパン推進協議会主催)

10月3日(木) 10:30~12:00 防災科研 東京会議室

※開催にあたり、レジリエンス協会もお手伝いさせていただきました。

(4) 公開研究会「気象リスクと都市のレジリエンス」

10月3日(木) 13:30~16:30 防災科研 東京会議室

(5) 第38回定例会「訓練とBC人材の育成」

11月21日(木) 13:00~17:00 防災科研 東京会議室

3. 第40回定例会開催中止のご案内

3月12日(木) 13:00～17:00 防災科学技術研究所 東京会議室 で開催予定でした
第40回定例会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とさせていただきます。

4. 会員の募集案内

【1. 第39回定例会開催 概要報告】 (以下ご講演者の敬称は省略させていただきます。)

日 時 : 2020年1月8日(水) 13:30～17:00

場 所 : 日比谷図書文化館 4F小ホール

参 加 者 : 24名 (含講演者)

テーマ : 今回の定例会は様々な角度・切り口からレジリエンスに関するお話をいただき、最後に減災ソリューションについてさまざまな質疑、話し合いが行なわれました。

(1) 13:30～14:10 「レジリエンス書き初め」



武田智子 (公益財団法人 地球環境戦略研究機構)

(2) 14:10～14:50 「農業セクターのレジリエンス向上に向けた 農地・農業用施設の災害復旧事業における課題」

三輪幸司

公益財団法人地球環境戦略研究機構)



(公



(3) 15:00～15:40 「減災サステナブル技術」

浅沼 博 (千葉大学 大学院工学研究院教授)

(4) 15:40～16:10

「クラウドGISを用いた災害時の
建物被害認定調査と時空間分析の
最新事例」

濱本両太 (FRSI ジャパン株式会社)



(5) 16:10～16:40 Q&A 「減災ソリューションの質疑」

司会・進行役は 当協会常務理事 田中和明

16:40 閉 会

【2. 令和元年8月～11月の定例会、公開研究会等の活動状況報告】

(1) 公開研究会「病院関係のレジリエンス」

日 時 : 2019年8月2日(金) 13:30～16:30

場 所 : 日比谷図書文化館 4F 会議室

参 加 者 : 23名 (含講演者)

テーマ : 災害が発生した時の医療体制について、特に人口が密集した都市部における医療体制は気になるところです。まさに緊急時の医療に関して課題も多いと考えられます。

病院関係のBCPについて、それぞれの立場から現状と課題をお話し頂き、最後の質疑応答で理解がより深められたと思われます。



① 13:30～14:10 「都市レジリエンス評価指標」

～緊急医療とインフラ整備の観点から～

荒木道雄 (一般社団法人 監査懇話会)

➡ 講演資料は講演者様のご厚意により
協会 HP に掲載させていただいております。



② 14:10～14:50 「メディカル関連物流について」

佐名憲明 (医療経営コンサルタント)

(センコー株式会社 メディカル物流営業部)

③ 15:05～15:20 「高齢者施設における避難具の 実態と課題」

美澤暁彦 (階段避難車安全推進協議会

代表幹事)

➡ 講演資料は講演者様のご厚意により
協会 HP に掲載させていただいております。



④ 15:20～16:00 「病院のBCP」

黄野吉博 (レジリエンス協会 代表理事)

➡ 講演資料は講演者様のご厚意により
協会 HP に掲載させていただいて
おります。



⑤ 16:00～16:30

「パネルディスカッション」

登壇者: 講演者4名

<モデレーター>

増田幸宏

(芝浦工大/当協会副会長)



16:00 閉 会]

(2) 第37回定例会

日 時 : 2019年9月20日(金) 13:15~16:45

場 所 : 日比谷図書文化館 4F小ホール

参 加 者 : 23名(含講演者)

テーマ : 地球温暖化とともに。日本を襲う台風は毎年深刻な被害を及ぼしています。地震と違い予知しやすい災害にもかかわらず、避難が遅れる原因はなぜか? 豪雨災害などの危険を分かりやすくするため、国は5段階の「警戒レベル」を決めました。今回の定例会では、様々な角度から、命を守り会社を守る行動に役立つ情報を紹介いただきました。

① 13:15~13:45 基調講演「リスク分析の重要性」

黄野吉博(当協会代表理事)

本日の司会進行; 当協会深谷純子常務理事



② 13:45~14:30 「気象情報とイメージーション」

宇野沢達也(株式会社ウェザーニューズ

気象予報士)

③ 14:45~15:30

パート1「災害とマンションの対応」

石附 弘(一般社団法人 マンションライフ

継続支援協会 MALCA)



パート2「江戸川の水害ハザードマップ

<ここにいてはダメです>」

飯田太郎(MALCA 相談役)

④ 15:30~16:15 「ビッグデータ・AIを使用した

災害情報の判断サポートプラットフォーム」

榎本吉秀(アビームコンサルティング株式会社

ダイレクター)



⑤ 16:15~16:45 Q&A

16:45 閉 会

(3) レジリエンスジャパン懇談会 「国土強靱化の取組」

日 時 : 2019 年 10 月 3 日 (木) 10:30~12:00

場 所 : 防災科研 東京会議室

参 加 者 : 27 名 (含講演者)

※ 開催にあたり、レジリエンス協会もお手伝いさせていただきました。

テーマ : 「レジリエンスジャパン推進協議会」主催の懇談会で、協議会メンバー間の“国土強靱化に係る政策の最新動向について情報を共有する“という目的で開催されました。

講演 : ① 「国際強靱化に向けた最近の防災科学技術の動向」

林 春雄 理事長 (国立研究開発法人 防災科学技術研究所)

② 「国土強靱化に向けた最近の取り組み」

宮崎祥一 内閣審議官 (内閣官房国土強靱化室)

③ 意見交換

<12:00 閉 会>



(4) レジリエンス協会 公開研究会

日 時 : 2019 年 10 月 3 日 (木) 10:30~12:00

場 所 : 防災科研 東京会議室

参 加 者 : 24 名 (含講演者)

テーマ : 気象リスクの観点で 都市のレジリエンスに関する情報提供を行いました。



① 13:30~14:10 「民間企業の気候変動適応ガイド

『気候リスクに備え、勝ち残るために (環境省)』の紹介」

増田幸弘 (芝浦工業大学 当協会副会長)

② 14:10~14:50 「気候変動とレジリエンス」

武田智子 (公益財団法人 地球環境戦略研究機構)



③ 15:00~15:40 「防災科研の災害対応と企業連携」

取出新吾 (防災科研 総合防災情報センター長補佐)

④ 15:40~16:20 「都市レジリエンス

～10の基本項目評価～

／UNISDR Preliminary Scorecard」

荒木道雄 (一般社団法人 監査懇話会)



16:30 閉 会

(4) 第38回定例会

日 時 : 2019 年 11 月 21 日 (木) 13:00~17:00

場 所 : 防災科研 東京会議室

参 加 者 : 24 名 (含講演者)

テーマ : 事業継続実践できる人材育成をテーマに、平時に行う訓練や実動時に必要な担当者の食事など、幅広く掘り下げた情報交換を行いました。



- ① 13:10~13:50 ・ICS から見た BCP 実効性向上策。押さえておきたい重点ポイント
・ロボットテストフィールドを利用した総合災害対応訓練について

志村邦彦 (株式会社 日本防災デザイン)



- ② 13:50~14:30 「レジリエントなインフラ設備維持に
貢献するドローンセンシング」

中川 守 (株式会社 ミライト・テクノロジーズ)

⇒ 講演資料は講演者様のご厚意により
協会 HP に掲載させていただいております。



- ③ 14:40~15:10 「BC 人材の育成と災害時の食の考え方」

真城源学、大野洋一、袴田理紗 (東急ファシリティサービス株式会社)

⇒ 講演資料は講演者様のご厚意により
協会 HP に掲載させていただいております。



- ④ 15:10~15:40 「訓練・演習がうまくいかない
～その解決策は～」

上田悦久 (演習研究会座長)

⇒ 講演資料は講演者様のご厚意により
協会 HP に掲載させていただいております。



- ⑤ 15:40~16:10 「BCP 担当者のレジリエンス育成」
深谷純子 (ヒューマンレジリエンス研究会座長)

⇒ 講演資料は講演者様のご厚意により
協会 HP に掲載させていただいております。



- ⑥ 16:10~16:40 「組織のレジリエンスに関する海外の
最新動向とBCIの活動」

田代邦幸 (組織レジリエンス研究会座長)

⇒ 講演資料は講演者様のご厚意により
協会 HP に掲載させていただいております。



- ⑦ 16:40~17:00 「Q&A」

司会・進行 爰川知宏 (NTT セキュアプラットフォーム株式会社)



17:00 閉 会

【3. 「レジリエンス協会 第40回定例会」開催中止のお知らせ】

以下に予定しておりました定例会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止とさせていただきます。

日 時：2020年3月12日（木） 13:00 - 17:00

場 所：防災科学技術研究所 東京会議室

東京都港区西新橋2丁目3番1号 マークライト虎ノ門6階602号室

【講演予定：（敬称略）】※時期を少し延期して開催することも考えています。いずれにしても新型コロナウイルスの感染拡大の終息度合いによることになります。

13:00 オープニング案内

13:10 - 14:10 基調講演 「防災気象情報を企業の災害対応に生かす」

坂井秀泰（気象庁総務部情報利用推進課）

14:10 - 15:10 「事業継続力強化計画の実践について」

石井洋之（IST経営コンサルティング、中小企業診断士、ITコーディネータ
組織レジリエンス研究会メンバー）

15:10 - 15:30 休憩

15:30 - 16:30 「災害時のドローン活用の取り組み事例とその課題」

高橋良仁（損害保険ジャパン日本興亜株式会社 保険金サービス企画部）

16:30 - 17:00 Q&A

17:00 閉会

【4. 会員募集のお知らせ】

◎ 当協会では会員を募集しております。当協会はレジリエンスに関する情報収集、意見交換の場として各業種、団体等の方々にお気軽に参加いただいている会です。レジリエンスにご興味をお持ちの方はぜひ一度定例会に参加いただき、会の活動状況等を実際にご確認いただければと思っています。

（参考）個人会員の年会費は10,000円です。年6回程度開催予定の定例会・訓練会等の参加費（1回3,000円×6回程度）が無料となる他、各研究会（チーム）にも自由に参加することができます。

法人会員（100,000円／年）もあります。

入会申し込み方法につきましては下記リンク先のページをご参照ください。

<https://resiliencej.wordpress.com/aboutus/application/>

レジリエンス協会会報 Resilience View 第 28 号(新 6)

発行：一般社団法人レジリエンス協会

「Resilience View」編集：広報委員 深谷純子 菊池謙三 新藤淳 宮田桜子

お問い合わせ先: info@resilience-japan.org

レジリエンス協会ホームページ <http://www.resilience-japan.org/>

本 Resilience View に掲載される記事の著作権は、原則として発行元に帰属します。

本レポートの無断転載は禁止です。転載・引用、雑誌掲載等本誌のコンテンツを利用される場合は、

「出典:レジリエンス協会会報 Resilience View 第〇号」と明記して下さい。

=====

※レジリエンス協会の各種案内は次の方々にお送りしています。

- ① 当協会の会員および会員から紹介のあった方。
- ② 当協会開催のイベントに、申込み・参加された方でメールアドレスをお知らせ頂いた方。
- ③ 当協会の関係者と名刺交換された方で、レジリエンスにご関心があると思われる方。

※ 当協会からの案内にお心当たりがない場合は、以下までメールにてお知らせください。

登録を解除いたします。

「info@resilience-japan.org」

=====